

第25章 地域編①：メキシコシティ

1. 地域概要

(1) 概要

①メキシコシティ概要

メキシコシティは、メキシコの中心部に位置するメキシコの首都であり、13世紀にアステカ人が築いた水上都市、アステカ王国の首都であった地域である。人口は約 921 万人でメキシコ全体の 7.3%を占めており、メキシコ最大の都市である。

標高は 2,250m と高く、周囲を山に囲まれた盆地に位置している。隣接州はモレロス州、メキシコ州である。政治、行政、司法の機能が集中しているほか、経済・金融の中心地でもある。外国直接投資額は 10,923 百万ドルであり、国全体の約 23%を占めている。

図表 25-1 メキシコシティの概況

基本事項	面積	1,494km ²
	人口	9,209 千人
経済概況	GDP	3,701,686 百万ペソ
	第一次産業が占める割合	0.0%
	第二次産業が占める割合	10.5%
	第三次産業が占める割合	89.4%
	外国直接投資額 (FDI)	10,923 百万ドル

(出所) INEGI より作成 (人口は 2020 年、GDP は 2021 年、FDI は 2022 年の数値)

②工業団地・日系企業進出動向

多くの外国企業はメキシコ最大の都市メキシコシティに拠点を設置しており、進出企業の業種は多岐にわたる。

メキシコシティの近郊都市も含めた都市圏には 2,000 万人以上が居住しているとされ、国内最大の消費市場となっているため、小売業やサービス業関連の外国企業はまずメキシコシティに進出することが多いようである。

図表 25-2 メキシコシティの位置



(2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

①インフラ・物流

【地下鉄・バス】

市内には 1969 年にフランスの援助を受けて開通した地下鉄 12 路線が運行しており、運賃は政府の補助で賄われているため、全区間均一の 5 ペソと極めて安価である。

そのほか、路線バス、地下鉄とバスの中間のような連結バスのメトロバス、市営バスのコビルサ、トロリーバスがある。

路線バスは、タクシーよりも運賃が安く、多くの庶民に利用されているが、路線は決まっているものの決まった停留所はなく、手を挙げて乗車し、降りるときはブザーを押して好きな場所で降車するスタイルである。

メトロバス（バス専用レーンを走る路線バス）は 7 路線が運行されており、市民の移動手段として利用されている。バス専用レーンを走り、停留所で乗り降りするため旅行者にも分かりやすく、セキュリティ面でも比較的安心して利用できる。運賃は 6 ペソで、切符はなく専用販売機で IC カードにデポジットする方法のみである。

また、コビルサは 2009 年に運行開始した。市内の目抜き通りを走り、停留所で乗り降りする方式の市営バスである。その他トロリーバスもあり、こちらも停留所で乗り降りするタイプである。

ひとくちメモ 23：渋滞に注意

メキシコでは、公共交通機関での移動が安全とは言えない面もあり、多くの駐在員は自動車で移動している。自動車移動で注意が必要なのは朝夕を中心とした激しい渋滞だ。日本であれば、朝は首都圏に向かう道路、夕方は郊外に向かう道路が混雑するが、メキシコシティの場合、都市部を通り抜けて郊外から郊外へ移動する人も多いため、双方向の道路が混雑する。メキシコシティ内のウォルマートまで、車で 20 分のところを、1 時間以上かかることもある。また、中心部の旧市街は道が狭く、路面店舗や路上駐車によりさらに狭くなり、事故や一時的な交通規制で立ち往生し、1 時間以上ほぼ動かないこともある。さらに、街を行く自動車はスピードも速く、強引な割り込みも頻繁に発生する。渋滞を見越して早めに出発したとしても、場合によっては想定していた渋滞が起きず、アポイントメントの時間よりかなり早く目的地に到着してしまうこともある。メキシコは非常にタイムコントロールが難しい国であり、滞在者は時間に余裕を持った予定を立てることが必須であると言える。

他方で、日系企業が多く集積するメキシコ中部や北部では、近隣住民や麻薬カルテルによる渋滞を狙った強盗被害も発生しているため、タイムコントロールだけでなく、治安面についても留意する必要がある。移動中でも貴重品を車内の見える場所に出さないように注意が必要である。

【写真説明】ケレタロ州の渋滞の様子

**【港湾・空港】**

メキシコシティ内の空港は、メキシコシティ中心部から約 8km に位置するメキシコシティ国際空港のみであるが、隣接するメキシコ州では 2022 年 3 月に新空港「フェリペ・アンヘルズ国際空港」が開業している。日本とメキシコシティの間では、成田空港からの直行便が運航しており、片道約 12～14 時間のフライトである。

太平洋側の主要港であるマンサニージョ港とラサロ・カルデナス港、大西洋側の主要港であるベラクルス港とアルタミラ港は、鉄道や航路、高速道路で繋がっている。

【電力】

電力は安定してきているものの、メキシコシティでも停電が発生することがある。

②労働事情

【人材】

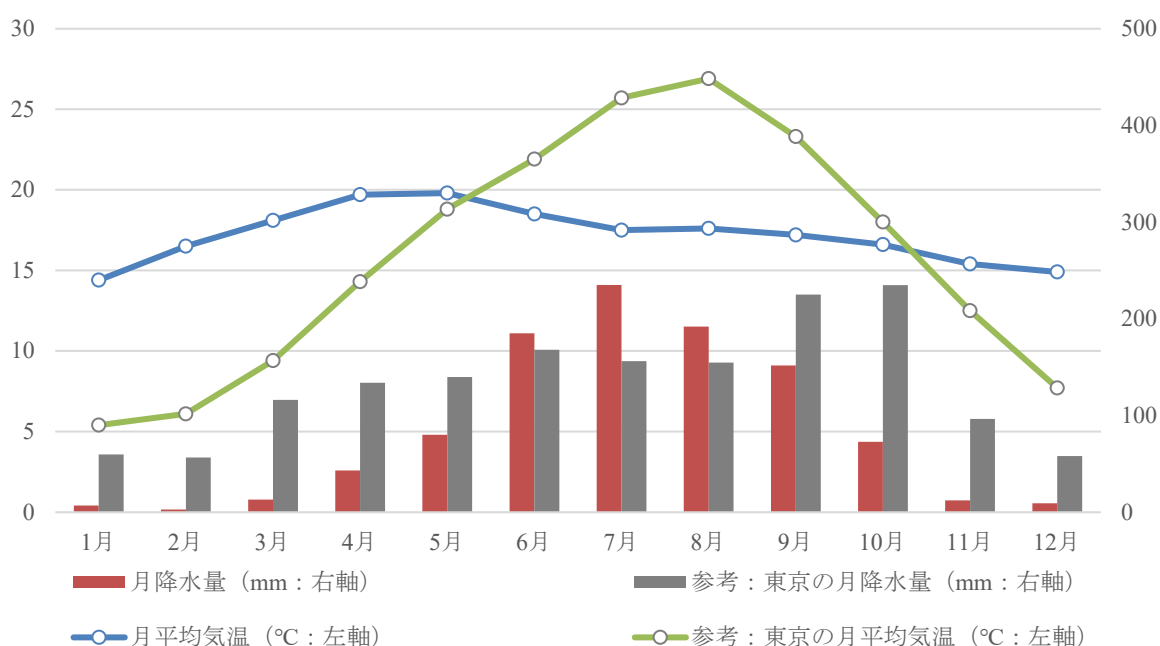
メキシコシティには、1551年に設立したラテンアメリカ最大規模の国立大学のメキシコ国立自治大学（Universidad Nacional Autónoma de México）をはじめ、国立大学である Instituto Politécnico Nacional、Universidad Autónoma Metropolitana 等、メキシコ有数の公立・私立大学が数多く集まっており、有能な人材を多数輩出している。

③生活環境

【気候】

1年中温暖な気候に恵まれているが、標高 2,000m 以上の高地のため寒暖の差が大きい。1年は、5月から10月の雨季と11月から4月の乾季に分けることができる。

図表 25-3 メキシコシティの雨温図



(出所) 気象庁より作成

【教育】

メキシコシティには、1977年に設立され、日本政府と当地の運営委員会により運営される日本人学校「日本メキシコ学院（リセオ）」がある。

日本メキシコ学院には、幼稚部（メキシココース運営）があり、日本人とメキシコ人が通園している。また、小学部と中学部があり、日本の教育課程に準拠した日本人子女を対象にする日本コースと、メキシコの教育課程に準拠したメキシコ人子女を対象とするメキシココースを併設する国際学校である。同校は、スクールバスでの送迎サービスを提供している。

図表 25-4 日本メキシコ学院 日本コースの概況

ホームページ	http://www.lmjapones.edu.mx/
住所	Camino a Santa Teresa 1500, Col. Jardines del Pedregal, CP 01900, Ciudad de México
電話	日本コース（小・中学部）+52-55-5568-5958 幼稚部日本クラス +52-55-5568-7111

（出所）在メキシコ日本国大使館及び日本メキシコ学院ホームページより作成

【医療】

市内には診察時間に制限があるものの日本語が通じる病院や歯科医院が複数存在する。米国と比しても遜色のない高い医療水準の総合病院が複数あり、専門性の高い医療機関での治療が可能である。メキシコシティには、英語や日本語対応可能な病院も存在している¹⁵。

【治安】

2023年のメキシコシティにおける在メキシコ日本国大使館に届けられた邦人の犯罪被害件数は12件あり、そのうち、すり3件、強盗3件（タクシー乗車中の強盗1件、路上強盗1件、ほか1件）、クレジットカードの不正利用が3件であった。¹⁶

【住居】

メキシコシティの日本人の多くは、高級住宅街であるボランコとヌエボ・ボランコに居住している。ボランコは、基本的に少ない世帯向けのアパートが多く、公園や美味しいレストランへのアクセスが便利な地区であり、ヌエボ・ボランコは、スーパーやレストラン等と直結している点が魅力である。

【日本食】

ボランコ、ヌエボ・ボランコ等の日本人の多いエリアには居酒屋、ラーメン屋、すし屋、会席料理等の日本食レストランに加えて、日本食品専門店も複数あり、調味料、インスタント食品、調理器具だけでなく、新鮮な野菜や魚等の入手も可能である。

¹⁵ https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/cs_ame/mexico.html

¹⁶ https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

ひとくちメモ 24：日本食レストラン

現地ヒアリングによると、日本食レストランはメキシコ国内で約1,200店舗展開しており、日本料理に対する人気が高いそうである。シェフが日本人である場合とそうでない場合、日本と同じ味付けである場合とそうでない場合があり、私たちが知っている「日本食」とは異なるものを提供されることもしばしばあるが、近年は本格的な日本食レストランが相次いで開店している。このような日本食レストランは、在墨邦人のみならず日本または米国からの日本人出張者、そしてメキシコ人にも好評を得ている。他方で、伝統的な日本食だけでなく、ロール寿司等をメニューの一つとして取り入れるレストランも増えており、スーパーでも「SUSHI」コーナーができてきているようである。

肥満大国として有名なメキシコではあるが、健康志向の高まりを受けてメキシコ人富裕層の顧客も増加しており、客の大半がメキシコ人という場合も多く見られる。日本人駐在者が堅調に増加しているメキシコであるが、日本食レストランを成功させるにはメキシコ人の顧客をつかむことも非常に重要な要素の一つである。メキシコ人富裕層をターゲットとしている日本食レストランのインタビューでは、富裕層はメニューのアレンジを要求することがあるため、そのような要望に応えリピーターを増やすためには、チェーン店のように出店規模を大きくすることは難しいとのことである。

現地ヒアリングでは、メキシコにおける生活環境について特に不便を感じない理由の一つに、メキシコ国内は日本食が充実しているということが多く挙げられた。当然ながら食事の価格は多少張るものの、日系企業が集積しているメキシコシティから離れた地域においても、日本食に手が届きやすいことは魅力的である。

【写真説明】ケレタロ州の日本食レストランにて



【金融】

日系金融機関の出張所があるほか、日系金融機関の現地法人も存在する。

2. 主要工業団地

メキシコシティの主要工業団地には FINSA Iztapalapa があるが、規模は小さい。メキシコシティには販売会社を置き、生産は他州で行うことが多いため、生産拠点を置く企業は少ない。メキシコシティに隣接するメキシコ州には多数の工業団地があり、日系企業も進出している。

図表 25-5 メキシコシティの主要工業団地一覧

No.	工業団地名	所在地
1	FINSA Iztapalapa	Av. Michoacán No. 20 Col. Renovación, Delegación Iztapalapa 09209 Ciudad de México México

(出所) Mexican Association of Industrial Parks より作成